



2016年5月10日

各位

会社名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証第一部)
問合せ先 広報グループ長 深井 稔
(TEL : 06 - 6201 - 2477)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社はこのほど、中期経営計画 NEW HARIMA 2018 (対象期間 : 2016 年度～2018 年度) を策定しましたので、下記の通り概要をお知らせします。

1. 中期経営計画 NEW HARIMA 2018 策定の背景

当社は、関連する国内市場の成長鈍化及び縮小に対応するため、グローバル戦略体制を構築し市場を拡大させてまいりました。

また、過去 3 年間にグループ最適を目指した製造拠点の再構築等、諸施策を実施することにより、2016 年 3 月期には、売上高 80,977 百万円、営業利益 2,437 百万円、経常利益 3,225 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 1,222 百万円、海外売上高比率は 60%超となりました。

そこで、当社グループの更なる飛躍を目指し、本年度を起点に 3 ヶ年中期経営計画 NEW HARIMA 2018 を策定いたしました。

2. NEW HARIMA 2018 の基本方針

(1) 事業成長方針

当社の強みを活かして事業を持続的に成長させるため、主要原材料であるロジンはグループ内調達率を 60%以上に高める等、収益構造の変革により高収益体質への転換を図るとともに、当社のコア技術を活かすことができる成長市場で事業を展開してまいります。

(2) 未来のハリマ化成グループを担う人財の育成

グローバルな視点で業務が遂行できる人財の育成を強化することにより、多様な人財が活躍できる仕組みを構築します。

(3) グローバル経営管理の向上

2016 年度からグローバル統合基幹業務システム (SAP) を導入し、持株会社であるハリマ化成グループ株式会社に経営情報がリアルタイムに集約されることで経営判断の迅速化を図ります。

(4) 経営数値

2018 年度に売上高 1,000 億円、営業利益 60 億円、ROE 8.0%の達成を目指します。

3. 事業の重点施策

- (1) 基盤事業：基盤事業の売上高増加と収益力向上を目指します。
- 〈樹脂化成品〉 原材料調達の優位性を活かすとともに、国内インキ用樹脂の収益力を向上
 - 〈製紙用薬品〉 コア技術を活かした差別化製品を米国、中国及び東南アジア市場で展開
 - 〈電子材料〉 自動車関連のグローバル市場へはんだ材料を展開
 - 〈ローター社〉 当社出資先のサンパイン社¹⁾でのツールロジン製造開始及びグループ内ロジン調達率を上げ、品質面及び価格面の競争力を向上
- (2) 市場開拓：当社製品の競争力を活かし、成長が期待できる国内外市場を積極的に開拓します。
- 〈樹脂化成品〉 微粒子分散技術、樹脂設計技術を活かし、自動車、電子材料及び光学フィルム市場で事業を拡大
 - 〈製紙用薬品〉 米国 FDA²⁾ 準拠製品をはじめ、世界の食品包装材料の法規制に対応しグローバル市場に展開
 - 〈電子材料〉 基板等の電子部品周辺市場へ導電性ペーストを展開
 - 〈ローター社〉 ラベル、産業用テープ向け水系粘接着付与剤樹脂分野で事業拡大
- (3) 新製品構築：基盤事業で培ったコア技術を基に顧客ニーズに合致した新製品を構築します。
- 〈樹脂化成品〉 環境配慮型樹脂製品を拡充し建築塗料及び重防食塗料市場で事業強化
 - 〈製紙用薬品〉 省資源、省エネルギーに対応した環境配慮型製紙用薬品の事業強化
 - 〈電子材料〉 次世代自動車に適応した高耐久性はんだ材料の投入
 - 〈ローター社〉 オフセット印刷インキ用樹脂で培った技術を包装用インキ向け市場へ展開
- (4) 新規事業：M&A 投資も含め成長市場での事業展開を目指します。
- ① 研究開発カンパニーを核とした基盤事業で培ったコア技術の拡充
 - ② ローター社の研究、製造及び販売網を活かし、新規事業をグローバル市場で展開

4. 投資計画

本中期経営計画 3 ヶ年累計の設備投資及び研究開発投資は 2013～2015 年度 3 ヶ年累計に対して約 1.3 倍に増強し、M&A を含め 250 億円を投資します。

単位：百万円

	2013～ 2015 年度	2016～ 2018 年度	増減 (3 ヶ年累計)
設備投資	7,439	9,400	+1,961
研究開発投資	6,371	8,700	+2,329
M&A	235	7,000	+6,765
総投資額	14,045	25,100	+11,055

5. NEW HARIMA 2018 最終年度の経営数値

単位：百万円

	2016年3月期 (実績)	2019年3月期 (目標)	増加率 (%)
売上高	80,977	100,000	23.5
営業利益	2,437	6,000	146.2
営業利益率(%)	3.0	6.0	100.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,222	3,000	145.5
ROE (%)	4.1	8.0	95.1

【脚注】

1) サンパイン社：

当社は子会社であるローター社を通じて、スウェーデンで粗トール油からバイオディーゼル用脂肪酸を製造しているサンパイン社に出資し、2015年12月より共同でトールロジンの生産を開始しました。

2) FDA：

アメリカ食品医薬品局（Food and Drug Administration）の略称。米国において食品等に直接接触する用途については FDA が化学物質の製品からの溶出について厳しく規定しています。

予想に関する注意事項

当資料に記載の業績予想及び事業計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しですが、今後当社を取り巻く経済情勢等により、実際の業績は記載している内容と異なる可能性があります。

以上